

## 共産党市議団が切実な願い実現へ

# 市長に予算要望書を提出



日本共産党野洲市議団(小菅六雄 野並享子 太田健一 市議)が26日、山仲市長に、市民の切実な要求を来年度市予算に反映するよう要望書を提出しました。日本共産党市議団は、暮らしを守る市政実現に向けがんばります。

山仲市長に提出しました要望項目の一部を紹介します。なお、要望書全文は「日本共産党市議団ホームページ」で紹介しています。

後期高齢者医療制度の廃止を国に主張されること。介護保険料・利用料を減額免除できる独自の条例を制定されること。  
高い国民健康保険税を一世帯1万円引き下げられること。資格証明書や短期保険証発行をやめられること。  
中学校卒業までの通院医療費を無料にされること。  
インフルエンザ予防接種について市独自の補助を実施されること。  
待機児童の解消へ学童保育所の拡充をされること。  
野洲養護学校は「新設校」としてふさわしい寄宿舎職員と教員の配置を行うよう県教委に要望されること。  
就学援助の所得制限を生活保護基準の1・5倍にされること。  
市内企業に対して正規雇用を指導されること。市に労働相談窓口を設置されること。  
高齢化が進んでいる団地や旧来の地域に若者が住み続けられ

るように、3世代住宅建設への補助や区画整理事業の拡大や新婚の家賃補助や市営住宅の建設を促進されること。

「市農業振興条例」を制定し、市農業を振興されること。小口簡易資金の窓口は自治体が行う原則を堅持し、限度額は1500万円まで引き上げられること。

「小規模改善工事登録者制度」と「住宅リフォーム補助制度」を創設されること。

環境保護の取り組みを強め市民活動を積極的に支援されること。

同和行政は終結し、個人施策・団体施策は止めること。

集中改革プラン

都市計画税の導入はされないこと。施設の廃止やサービスの切り下げはやめること。修学旅行の補助金廃止はやめること。

市広報は新聞未購読者にも引き続き配布すること。元気カードの有料化はやめること。

その他、安心・安全のまちづくりへ、信号機の設置、歩道整備、道路や河川の改修など、早期に改修や対策を行うよう求めました。実現へがんばります。



### 12月定例市議会日程 (12月3日~22日)

12月定例市議会は、12月3日から22日まで開催されます。ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください。傍聴にもお越しください。

3日(木) 本会議(議案提案)	15日(火) 総務常任委員会
10日(木) 本会議(議案質疑・一般質問)	16日(水) 文教福祉常任委員会
12日(金) 本会議(一般質問)	17日(木) 環境経済建設常任委員会
14日(月) 本会議(一般質問)	22日(火) 本会議(討論・採決)

やす民報

日本共産党野洲市委員会  
2009年11月29日 186

暮らしのご相談・要望  
お寄せください

小菅六雄  
野並享子  
太田健一

(電話・FAX) 589-4971

(電話・FAX) 587-0985

(電話・FAX) 588-3169

(メール) shgdy177@ybb.ne.jp

(メール) no73kyo\_ko@ybb.ne.jp

(メール) kensan.world21@docomo.ne.jp